



みんなの考えを共有しようの巻(5) 方法の工夫編②

◆学習時間確保のためには、無駄を省くことも大切。どうやったらいいのか、みんなの工夫を見てみましょう。

Check! 01

方法の工夫②(効率アップ編)

事前にやることが明確になっていたら、滑り出しスムーズ!



①ぐだぐだしない、後回しにしない

- ・夜のうちに明日やることを決めておく
- ・気になったことはすぐ調べる

②暗記の効率

- ・教科書をノートに書き写すのではなく、なるべく問題を解いて効率よく暗記ができるようにしている
- ・赤シートを使って書く時間を減らしている

ただ書き写すだけ、よりも問題演習を重ねる方が記憶に残りそう? 似た問題を複数回できるわけだし。

③ワークや問題集の2周目はコンパクトに

- ・間違えた問題のみ書き出している
- ・できた問題とできなかった問題に分けて印を付けて、できなかった問題を徹底的に行う

確実に「わかる」し「できる」ものは、2周目以降はやらないであげば効率がいいですね。タイムトライアルは「わかる」「できる」も含めてやるべし。

④問題を解くのに時間がかかりすぎる、というか全然わからない! 場合

- ・答えを見て効率を良くする
- ・ワークの一周目は答えを見ながらやって問題内容を理解した
- ・社会の用語や、英語の単語の意味が分からなかった時は、考えても時間が過ぎてしまうだけなので、迷わず調べる

答えを見てやる方法は、「答え丸写し」では何の意味もないので注意! このやり方にはコツがあります。下の Q&A を参照してください。

一日の終わりに、明日の予定を書き出しておくのはいいですね! 教科書をノートに書き写すのも、ただの書写練習になっているのでは手の運動にしかありませんが、「どうしてこうなるのかな? どうしてこの考え方が出てくるんだろう? どうやったら自分でこの考え方を思いつけるかな?」ということを考えながら書き写したりメモを付け加えたりするのはいいかも。「考える」「背景にある考え方を読み取る」「考え方を自分で再現できるようにする」のがポイントです。

用語や英単語は、10秒考えて思い出せなければ調べてしまいましょう。ただし、「思い出そう」と頭を一度本気で働かせておくことは大切ですよ。その「思い出す」作業の有無で、その後の定着率が違うそうです。

Check! 02

Q&A 「数学が苦手で、完成ノートを解くのに時間がかかり、計画通り進まない」

上のコーナーに「答えを見て効率を良くする」という例がありましたね。「1問を解くのにかける時間を制限する」のは、効率を上げる一つの手です。ただ、やり方にはコツがあります。

- ①一定の時間真剣に考えて解けないときには、答えを見て、解に至る方法や理屈を理解することに時間をかける。
- ②1~2日後にもう一度その問題を解いてみて、自分で納得感をもって再現できるか確認する。
- ③何度か繰り返して定着させる。再現できても理屈を理解できていない場合は、人に相談する。
(理解できているかどうかは、「なぜそうなるか」を人に説明してわかってもらえるかどうかで確認するといいいよ!)

ただ答えを丸写しするのでは単なる手の運動ですし、表面的に「こうやればいいんでしょ」とやり方を覚えているだけでは、本当に大切な力は身につけません。「なぜその答えになるのか」「なぜそのような考え方をするのか」を徹底的に考え抜いて、納得することが大切です。考え抜いて納得を積み重ねた分だけ、思考する力が身につきます。実は、みんなに身につけてもらいたいと思っているのは、知識量よりも考える力なのです。(でも考えるためには知識の量も必要、という...)

納得するまで考え抜くこと、そしてその考え方を身につけること。これは、数学だけでなく、どの教科でも大切です。国語でも、英語でも、理科や社会でも、高校以降の伸びに関わってきます。効率も大事ですが、理解が表面的にならないようにしましょう。急がば回れ、です! あっ、もちろん、課題の提出期限とのバランスはうまくってね!